

新しい意識の進化研究が進化心理学論争から学べること

網谷 祐一 (Yuichi Amitani)

会津大学

近年、著名な生物学者と哲学者が意識の進化についての新しい理論を提起している。こうした研究者にはファインバーグ&マラットやピーター・ゴッドフリー=スミス、ギンズバーグ&ヤブロンカがいる(Feinberg & Mallatt 2016; Godfrey-Smith 2016, 2020; Ginsburg & Jablonka 2019)。理論の細部については異なるものの、彼らは総じて「原始的な」形の意識に焦点を当て、同時に意識の進化的起源は以前考えられていたよりもずっと古いと主張する。これは以前の意識の進化研究が自己意識のような洗練された意識に焦点を当て、さらに哺乳類などの高等生物のみが意識を持つと主張する傾向のあったことを考えると(例えば Humphrey 2002)、著しい対照をなしている。

本発表ではこうした理論を方法論的基盤から吟味する。ここで検討する論点の一つは、こうした説と進化心理学のような既存のヒトの心についての進化的研究との間の比較である。哲学者は継続的に社会生物学・進化心理学に方法論的批判を浴びせてきた。さらにこれらの分野の方法論の一部——例えば説明対象の形質について適応的説明を与えること——は新しい意識の進化研究にも見られる。するとこうした意識の進化研究が社会生物学や進化心理学と同じ方法論的批判に直面するのではないかという疑問が生まれる。

この疑問に答えるために、本発表では進化心理学へ向けられてきた批判のうちロバート・リチャードソン(Richardson 2007)が行ったものを紹介し、それが新しい意識の進化研究に当てはまるかどうかを、とくにファインバーグとマラットのものを取り上げて検討する。リチャードソンの批判は、進化心理学による説明はいくつかの重要な点において必要な情報を提供しておらず、その意味で適応に訴える説明として不十分だというものである。例えばリチャードソンはピンカーとブルームの言語進化の説明(Pinker & Bloom 1992)を検討して、言語進化以前の人類祖先の集団のありかたが不明なため、言語進化に選択が果たした役割が十分解明されていないことを指摘する。

ではこうした批判はファインバーグとマラットの説明に当てはまるのだろうか。本研究の分析では、彼らの説明はピンカーとブルームのものよりはよいものの、いくつかの点で情報が不足しており、十全な説明とは言えない。しかし適応に訴える説明がファインバーグとマラットの説全体で占める位置を考えると、この問題点は彼らの説全体を転覆させるほどのインパクトを持つわけではないと結論する。

ただしこれはファインバーグとマラットの適応的説明に問題がないことを意味しない。というのは、彼らは別の箇所では意識進化の適応的説明を意識の随伴現象

説を論駁するために用いているが、この論駁の前提には疑義があるからである。本発表の結論部ではそうした問題点を指摘する。

文献

- Feinberg, Todd E, Mallatt, Jon M: *The Ancient Origins of Consciousness: How the Brain Created Experience*. The MIT Press, 2016 [邦訳：『意識の進化的起源：カンブリア爆発で心は生まれた』鈴木大地訳、勁草書房]
- Ginsburg, Simona, Jablonka, Eva: *The Evolution of the Sensitive Soul: Learning and the Origins of Consciousness*. MIT Press, 2019 [邦訳：『動物意識の誕生（上）（下）』鈴木大地訳、勁草書房]
- Godfrey-Smith, Peter: *Other Minds: The Octopus, the Sea, and the Deep Origins of Consciousness*. Farrar, Straus and Giroux, 2016 [邦訳：『タコの心身問題』夏目大訳、みすず書房]
- Godfrey-Smith, Peter: *Metazoa: Animal Life and the Birth of the Mind*. New York: Farrar, Straus and Giroux, 2020
- Humphrey, Nicholas: *The Inner Eye*. Oxford University Press, 2002 [邦訳：『内なる目』垂水雄二訳、紀伊國屋書店]
- Pinker, S, Bloom, P. Natural language and natural selection. In: Barkow JH, Cosmides L, Tooby J, editors. *The Adapted Mind: Evolutionary Psychology and the Generation of Culture*. Oxford University Press; 1992. p. 451-493
- Richardson, Robert C: *Evolutionary Psychology as Maladapted Psychology*. The MIT Press, 2007